



このレポートは、住宅市場の把握に欠かせない各種データや経済指標により親しみを感じていただくためのものです。気軽にお読みいただければ幸いです。

住まい購入の資金援助の実際

～ウェブアンケートにみる親からの資金援助～

住宅市場研究室 小間 幸一 kouichi-koma@toshinjuuken.co.jp

住まいの購入者層（購入済者&購入希望者）が親から資金を援助してもらうことはよくある話だ。しかし、実際はどのようなものなのだろうか？実態を知るために当研究所では住まい購入者層（購入済者&購入希望者）へのウェブアンケート（愛知県在住、サンプル数＝215件、6月）を実施した。

●親（親族含む）からの資金援助について（表1）

一戸建てやマンション等の購入者を含む全体の結果を見ると、資金援助をしてもらっている人40%に対し、資金援助をしてもらっていない人60%に分かれる。

次に資金援助をしてもらっている人（40%）の中身をチェックしてみよう。一位が「100～300万円未満」で7.91%、二位が900～1,100万円未満で7.44%、三位が500～700万円未満で6.05%であった。

1,100万円で一線を引いてみると、100万円未満から1,100万円未満が合計で29.77%となっている。資金援助を受けている40%の中で約7割が1,100万円未満という結果だ。

さらに高額な資金援助の状況はどうなっているだろうか。3,100万円以上はさすがに少なく、1.86%となっている。ほとんど家一軒分に相当する金額だが、割合からすればほとんど例外といってよいだろう。

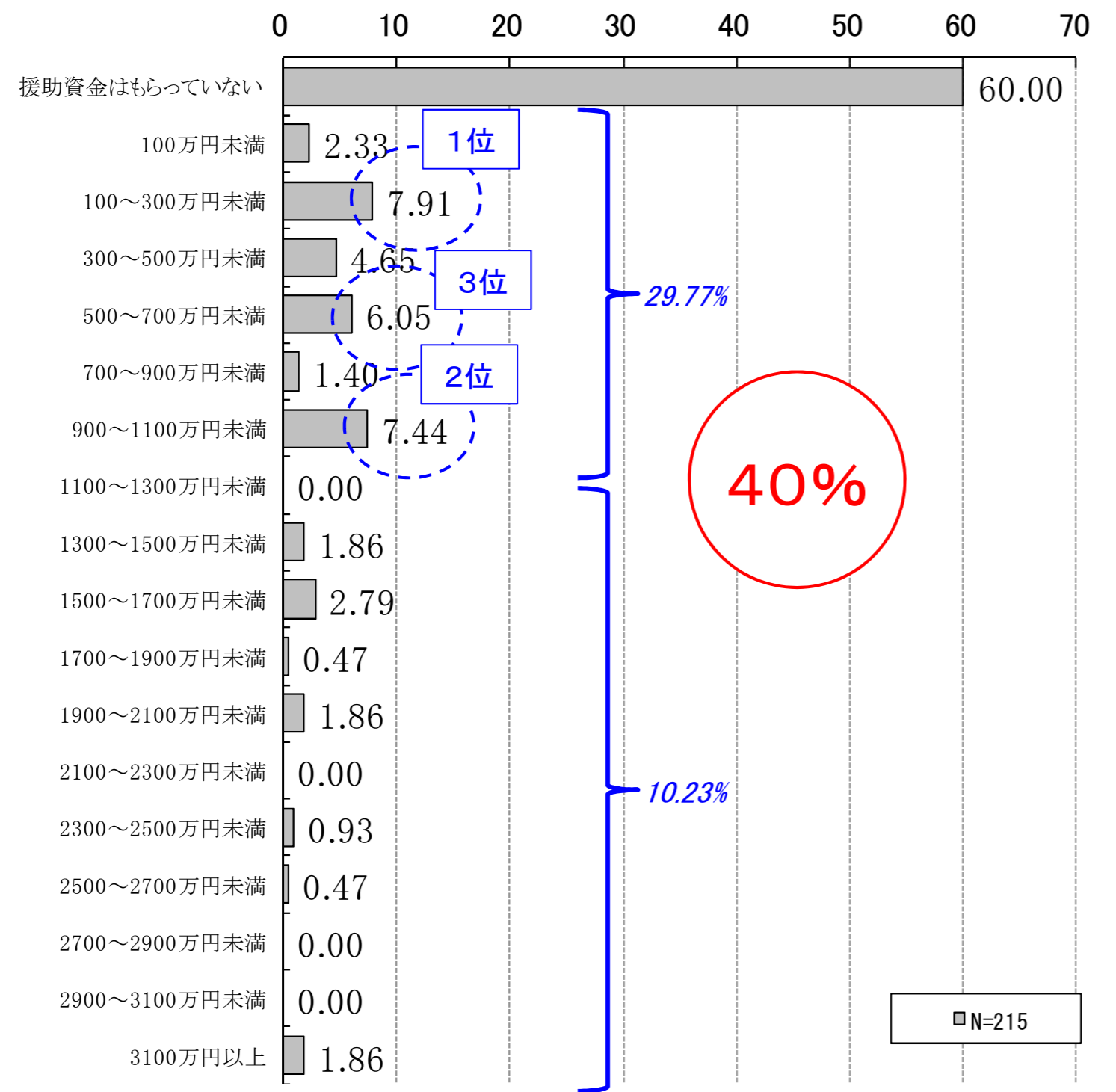
今回のアンケート結果では、資金援助をもらっている人は半分よりやや少ない程度であった。多くの場合その金額も住まい購入資金の「諸経費+アルファ」というのが実態のようだ。住まいは自らの資金で、自らの思いを込めて、というのが昨今の世相のように思われる。

以上

本ページの内容はあくまで執筆者の個人的見解に基づくもので、当社としての正式見解と必ずしも一致するものではありません。予めご了承願います。

表1. 親、親族からの資金援助

資金援助(単数回答) (%)



調査対象者 : 愛知県在住で3年以内に戸建住宅・マンションを購入した、
または3年以内に戸建住宅・マンションを購入したい人

サンプル数 : 2013年6月調査 n=215

調査会社 : 株式会社インテージ www.intage.co.jp

データ分析 : 東新住建株式会社住宅市場研究室